

2024年3月1日

## 2024年度一般社団法人日本民俗建築学会第51回大会のご案内

東京都新宿区北町18 minken@outlook.jp

一般社団法人日本民俗建築学会

本学会の大会は51回目を迎え、福島県喜多方市で開催することになりました。会津での本学会の事業の開催は、1977年の第2回見学会と1990年の第15回見学会以来で34年振りとなります。

喜多方市は、今でも4000棟の蔵が残る蔵の街でもあります。その蔵も、店蔵（見世蔵）、酒・味噌・醤油などの醸造蔵、穀物蔵、漆器蔵、座敷蔵、商品蔵、作業蔵と多彩です。また、煉瓦蔵は、市内で生産する煉瓦で造られた蔵です。2018年には、<sup>おたづき</sup>小田付地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

大会のうち総会・講演・研究発表は、喜多方プラザ文化センターで行い、情報交換懇親会はかつての醸造仕込み蔵で行います。そして、翌日は、蔵造りの民家を中心にしての見学会になります。

有名な喜多方ラーメンも、蔵の見学者がラーメン店に入ったのがきっかけともされています。また、名声を博す山都そばは、地元の祝いの席で振る舞われていた十割蕎麦です。皆様のご参加をお待ちします。

1. 日程 2024年6月1日（土）・2日（日）

2. 大会会場 喜多方プラザ文化センター（喜多方市押切2丁目1番地、JR喜多方駅から徒歩15分）

### 3. スケジュール

#### 6月1日（土）大会1日目

9時30分～10時30分 理事会（喜多方プラザ文化センター第2会議室）

10時45分～11時45分 代議員総会・会員総会（喜多方プラザ文化センター1階ホール、以下同じ）

11時45分～12時 学会賞授与式、記念撮影

12時 昼食

13時～13時50分 講演（公開）：岩崎真幸氏（福島県民俗学会会長）「福島県の屋敷林」

14時～17時 研究発表（公開）

18時～20時 情報交換懇親会（大和川酒蔵北方風土館昭和蔵）

#### 6月2日（日）大会2日目 見学会

##### 「蔵の街・喜多方の歴史と伝統的建造物群」

8時15分ガーデンホテル喜多方（喜多方市天満前8845-3）集合→8時30分出発

新宮熊野神社長床→蔵の里（旧外島家県重文、旧手代木家県重文ほか）→煉瓦窯・若菜家→重伝建群

<sup>おたづき</sup>小田付地区（大善、大森家、旧金忠ほか）の蔵巡り→小荒井地区（若喜、島三、冠木家ほか）の蔵

巡り→16時45分頃会津若松駅解散→喜多方駅

#### 4. 研究発表 6月1日(土) 14時～17時(公開)

発表内容は、未発表で、民俗建築にふさわしい内容に限ります。

**発表要旨提出期限：4月20日**

発表要旨仕様：A4判2ページ、横書き、2段組み、提出原稿のままモノクロ印刷。

発表要旨提出先：〒162-0834 東京都新宿区北町18 一般社団法人日本民俗建築学会 事務局宛へ郵送  
またはEメール：minken@outlook.jpにて送付

\*研究発表を行う場合は、今大会より昨年の総会で決定しました研究発表登録料(1万円)が必要になります(学生は無料)。ただし、発表内容は学会誌『民俗建築』に無料で掲載できます。

\*パワーポイント等のデータは、研究発表前の昼食時に担当者にあらかじめお渡しください。

#### 5. 情報交換懇親会 6月1日(土) 18時～20時

大和川酒蔵北方風土館昭和蔵(喜多方市寺町4761)

醸造仕込み蔵を利用した施設で、椅子テーブルの着席式です。

#### 6. 宿泊

ガーデンホテル喜多方(喜多方市天満前8845-3、Tel0241-23-2221)

・6月1日(土)大会当日の宿泊は本学会で上記のホテルを確保しています。シングル朝食付き7,600円、ツイン朝食付き14,200円(二人分)です。禁煙室か喫煙室かの希望をとりますが、希望にこたえられない場合もあります。また、上記ホテルが定員に達した場合は、個人で別のホテル(喜多方グリーンホテル等)を確保してください。

・5月31日(金)前日の宿泊も必要な方は、参加申込み時に宿泊の希望を伝えてください。

#### 7. 見学会 6月2日(日) \*見学先は予定

8時15分ガーデンホテル喜多方(喜多方市天満前8845-3)集合→8時30分出發

- ① 新宮熊野神社長床ながとこ(国重文、吹き抜けの拝殿、喜多方市慶徳)→
- ② 蔵の里(旧外島家県重文、旧手代木家県重文ほか、喜多方市押切)→
- ③ 煉瓦窯・若菜家(喜多方市岩月町三津谷)→
- ④ 昼食(蔵屋敷あずまさ)→
- ⑤ 重伝建群小田付地区おたづき(大善、大森家、旧金忠ほか)の蔵巡り→
- ⑥ 小荒井地区(若喜、島三、冠木家ほか)の蔵巡り→

16時45分頃会津若松駅解散→喜多方駅

\*定員は先着順で大型バス1台分及び伴走車(脚の不自由な方用)合せて54人といたします。

#### 8. 費用

(1) 大会参加運営費 3,500円(学生は無料)。\*1日目、2日目の片方だけの参加者も同額です。

(2) 研究発表者の研究発表登録料 1万円(学生は無料)。

\*今大会より研究発表では登録料がかかります。ただし、内容は『民俗建築』に無料で掲載できます。

(3) 大会1日目(6月1日)の郡山駅東口広場7時50分発の会場行き学会専用バス乗車 3,000円

(4) 大会1日目(6月1日)の昼食(弁当とお茶) 1,000円

- (5) 情報交換懇親会（6月1日） 8,000円（学生も同額）。
- (6) 6月1日宿泊費（朝食付き） シングル7,600円。ツイン（二人部屋）14,200円
- (7) 前日5月31日宿泊費（朝食付き） シングル7,600円。ツイン（二人部屋）14,200円
- (8) 見学会（6月2日） 6,500円（バス・昼食・資料・入館料等を含む、学生も同額）。

## 9. 参加手続き

**参加申込み締切り：4月30日必着**

次のいずれかの方法で参加申し込みをして下さい。見学会は先着順になります。

- ① 同封の葉書に、必要事項を記入して返送してください（切手代はご負担願います）。
- ② メールにて3月1日に参加フォームをお送りしますので、そこから参加申し込みを行ってください。

## 10. 交通

行き：東京6時12分発→東北新幹線→郡山7時29分着

郡山駅東口広場7時50分発の学会専用バス→会場9時20分着

東京6時40分→東北新幹線→郡山8時20分(乗換)郡山8時29分→(会津若松乗換)→喜多方10時10分

\*そのほか福島空港発着の大阪便と札幌便がありますのでリムジンバスの時刻とともにご確認ください。

また、浅草(東京)から東武線ほか経由の会津若松への特急や、新潟方面からJR磐越西線で喜多方駅への利用、さらに東京・新宿から会津若松・喜多方への長距離バスもありますので時刻をご確認ください。

帰り：会津若松17時30分発→郡山18時36分着(乗換)郡山19時発→東北新幹線→東京20時44分着

## 11. 参加申込の控え

- |                                  |              |              |      |       |
|----------------------------------|--------------|--------------|------|-------|
| (1) 大会運営費                        | 3,500円       | (学生は無料)      |      |       |
| (2) 研究発表者の研究発表登録料                | 1万円          | (学生は無料)      | 発表する | 発表しない |
| (3) 大会1日目(6月1日)の郡山駅7時50分発の会場行きバス | 3,000円       |              | 利用する | 利用しない |
| (4) 大会1日目(6月1日)の昼食(弁当)           | 1,000円       |              | 必要   | 不要    |
| (5) 情報交換懇親会(6月1日)                | 8,000円       |              | 参加する | 参加しない |
| (6) 6月1日宿泊(朝食付き)                 | シングル(7,600円) | ツイン(14,200円) | 必要   | 不要    |
| (7) 前日5月31日宿泊(朝食付き)              | シングル(7,600円) | ツイン(14,200円) | 必要   | 不要    |
| (8) 見学会(6月2日)                    | 6,500円       |              | 参加する | 参加しない |

## 12. 第51回大会

**主催：一般社団法人日本民俗建築学会**

**後援：喜多方市教育委員会、福島県民俗学会、喜多方蔵の会**

\*講演及び研究発表は地元の方に無料公開いたします。

第51回大会実行委員：小澤弘道（委員長、本学会評議員）、大山孝正、阿部陽子

実行委員連絡先 小澤弘道 969-4131 福島県喜多方市山都町広野 2464

電話 090-7323-9155 [hiromichi75@outlook.com](mailto:hiromichi75@outlook.com)

事業担当：森 隆男